

29日機輸貿保199号
平成29年10月31日

各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持治彦

第12回「貿易取引リスク対策セミナー」

インドネシア最新物流事情 ～インドネシア物流の今とこれから～

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当組合の活動に格別のご理解とご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本機械輸出組合では、インドネシアの最重要港であるタンジュンプリオク港のコンテナターミナルの再開発やジャカルタ近郊からスマトラ島南端までの物流インフラの現状と今後の展望をテーマに、三井住友海上火災保険株式会社より海損部 海外企画チーム 課長代理 本田亮氏を講師に招き、第12回「貿易取引リスク対策セミナー」を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

インドネシアは2014年10月に就任したジョコ・ウィドド大統領のもと、経済・社会政策を最優先課題として、鉄道、港湾、電力・エネルギー等のインフラ整備や社会保障の充実を目標に掲げ、いくつもの施策が打ち出されています。従来、ジャカルタ近郊の物流に関しては、タンジュンプリオク港湾地域に代表されるように、キャパシティ不足による貨物の滞留や道路環境整備不足による配送の遅れ、ハンドリングミスや不適切な扱いによる破損等、物流に関する複合的なリスクが内在しておりました。しかしながら近年では、第1新プリオクコンテナターミナルやタンジュン・プリオクアクセス道路といった新施設が稼働を開始し、徐々に物流の正常化が図られてきています。そして東ジャカルタ地域の高速道路、パティンバン港の建設なども始まり、インドネシアはこれから更なる物流環境の改善に取り組んでいこうとしている状況です。また、こういったハード面だけでなく、インドネシアをASEANのハブとすべく導入された保税物流センター（PLB）、E-Commerceなどソフト面においても改革が進んでおり、その進捗が注視されています。

そこで本年7月に三井住友海上火災保険株式会社及び同社現地法人による現地調査に基づき、現地の道路、港湾ターミナル等に係る動画や写真を交えながら物流の実態に加え、現在取り組まれている施策や今後の展望等について報告いただきます。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時及び場所

日時:平成 29 年 12 月 13 日(水)14:00~16:00

場所:東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 6階 6D-1~3号室

地図:<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

2. プログラム(予定)

	テーマ	講師
14:00	インドネシア最新物流事情 1. 「インドネシア物流の今」 ①インドネシア物流の概要 ②タンジュンプリオク港湾地域 ③東ジャカルタ地域 ④西ジャカルタ地域~スマトラ島	三井住友海上火災保険株式会社 海損部 海外企画チーム 課長代理 本田 亮 氏
15:00	2. 「インドネシア物流のこれから」 ①インドネシアのこれから 概要 ②ジャカルタ近郊のインフラ改革 ③PLB 保税物流センター制度 ④E-Commerce と小口混載物流 (休憩 10分含む)	
15:40	質疑応答、その他	
16:00		

3. 参加費: 無料 (組合員企業限定)

4. 申込方法: 当組合 WEB サイトよりお申込み願います。
URL: <http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#Indonesia>

5. 定員: 120 名

6. 申込み期限: **12月8日(金)**
(誠に勝手ながら、申込状況により早期に締め切らせて頂く場合がございますので、ご了承願います。)

7. 会場での受付方法: 受講票の発行はございませんので、会場受付にて名刺を申し受けます。

8. キャンセル方法: 下記事務局宛に e メールまたは電話にて御連絡願います。

本セミナーに関するお問合せ先
日本機械輸出組合 貿易保険グループ 担当:近藤、柴岡
電話:03-3431-9607、E-mail:boekihoken@jmcti.or.jp

以上